

令和9年度目標指標【24項目】

R8.1

テーマ	四万十川の将来像 (条例第4条)	令和9年度目標指標項目		目標値	目標値達成のために必要と思われる取組 / 【取組の実施主体】	取組の実施例
生態系及び景観の保全	(1)四万十川の水量が豊かで、かつ、清流が保たれていること	1	清流基準の達成度 ①清流度	各地点 1.0m以上、流域全体平均 7.1m	・森林政策(山の保水力回復、生物多様性確保等) ※事業予算の確保と担い手育成 例: 間伐、針広混交林拡大(落葉広葉樹植林)、協働の森づくり事業による整備、シカ食害対策、希少植物保護対策等 【実施主体】 四国森林管理局、県林業部署、県環境部署、流域市町、森林組合、森林ボランティア等	○各実施主体による個別施策の実行 ・県及び市町村森林整備計画、森林経営管理制度、第5期高知県第二種特定鳥獣管理計画、河川整備計画、市町村景観計画、四万十川環境配慮指針、重点地域における許可制度等の適正な運用
		2	清流基準の達成度 ②水生生物	流域全体平均 1.3ランク以下		
		3	清流基準の達成度 ③窒素	流域全体平均 0.35mg/L以下		
		4	清流基準の達成度 ④りん	流域全体平均 0.015mg/L以下		
		5	生活排水の浄化率(汚水処理人口普及率)	83%以上		
	(2)四万十川に天然の水生动植物が豊富に生息し、又は生育していること	6	四万十川一斉清掃の参加者数	3,300人以上	・各市町における啓発及び継続的な参加者確保のための実施手法の検討 【実施主体】 流域市町、四万十川総合保全機構、流域住民、事業者等	○ 流域をあげて取組を推進するための活動(情報共有、情報発信) ①県が行う活動 ・清流モニタリング結果の公表(各種会議や流域フォーラム等での情報共有) ・各実施主体の取組の紹介(各種会議やワークショップ等での情報共有) ②流域市町が行う活動 ・関係市町、各分野の関係者、住民等が参加し情報交換する場の創出(勉強会、ワークショップ等)
		7	四万十川における河床高の状況	－	・調査地点の検討、設定、予算確保、実施 【実施主体】 国、県、高知県四万十川流域保全振興委員会等	
		8	魚類・底生生物の確認種数	魚類71種、底生生物236種(現状確認種数維持)	・調査地点や川上の環境保全策(森林政策、河川整備・管理政策、排水汚水処理対策)の実施 【実施主体】 国、県、流域市町、流域住民、事業者等	
		9	除・間伐の面積	毎年1,000ha以上	・計画的な造林補助事業及び治山事業等の実施 【実施主体】 四国森林管理局、県林業部署、流域市町、森林組合、森林ボランティア等	
		10	混交林の面積(単年値)	－	・計画的な造林補助事業及び治山事業等を実施する中で、水土保全林(保全型)に区分された森林内での強度間伐の実施 【実施主体】 四国森林管理局、県林業部署、流域市町、森林組合等	
		11	環境先進企業との官民協働の環境保全 ①協働の森づくり事業における協定件数	14件以上	・環境先進企業と地域とが協働した「森林の再生」と「交流の促進」を柱とした取組の実施 ※取組の情報発信の強化と呼応 【実施主体】 県、環境先進企業、流域市町、森林組合等	
		12	②協働の川づくり事業における協定件数	2件以上	・環境先進企業と地域とが協働した「川の環境保全活動」の実施 【実施主体】 県、環境先進企業、流域市町、環境保全団体等	
		13	③公益財団法人四万十川財団への寄付件数	4件以上	・四万十川の公益的事業を実施している四万十川財団に寄附金を集める手法等の検討・実施 ※取組の情報発信の強化と呼応 【実施主体】 四万十川財団、環境先進企業、四万十川総合保全機構、県等	
		14	有害鳥獣の捕獲数	ニホンジカ:7,000頭以上	・第5期高知県第二種特定鳥獣(ニホンジカ)管理計画に基づく取組の推進 ※事業予算の確保と担い手育成、関係団体等と連携した個体数管理 【実施主体】 国、県、流域市町、猟友会等	
生活・文化・歴史の豊かさの確保	(6)住民の安全かつ快適な生活が保たれていること	1	川で遊んだ子どもの割合	60%以上	・川にふれ合う行事の実施の充実・広報、安全・安心で楽しい水辺活動の機会創出、学校等での環境学習実施への支援等 【実施主体】 四万十川財団や地元の漁協関係者、国、県、流域市町等(あらゆる主体が連携・協力)	○ 各実施主体による安全・安心で楽しい水辺活動の企画・実施等の継続 ○ 各実施主体による学校等での環境学習実施への支援の継続 ○ 四万十川財団による川の活動を支援する人材の育成と機会の提供
		2	川で魚やエビなどを捕ったことのある子どもの割合	40%以上		
		3	水生生物調査実施校の割合	50%以上		
	(7)四万十川がこどもの遊びの場として活用されていること					
	(8)四万十川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること	4	四万十リバーマスター及び生物多様性こうち戦略推進リーダーの人数	100人以上	・四万十リバーマスター及び生物多様性こうち戦略推進リーダーの養成及び活動機会の創出 【実施主体】 四万十川財団、四万十川総合保全機構、県、流域住民等	○ 四万十川財団による人材育成や機会の提供につながる事業の継続実施
	(9)流域内又は流域外との地域間交流が活発に行われているとともに、その活動が、住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと	5	四万十川(自然、景観、文化)を活用したイベント等の入込客	137千人以上	・魅力ある企画の立案・実施と呼応 【実施主体】 流域市町、各団体・事業者等	○ 流域市町や観光事業者等による個別施策の実行
	(10)情報通信網が整備され、その活用が図られていること	6	伝統祭事の実施状況	50件以上 (現状維持)	・伝統祭事の担い手の確保や地域支援等 ※伝統祭事に関わる人材の育成、助成、人的支援、情報発信等 【実施主体】 流域市町、集落活動支援センター、県、流域住民等	○ 流域市町や住民等による取組の継続
		7	シンボルの伝統家屋等	17件 (現状維持)	・保存・維持にかかる予算の確保、担い手確保、情報発信等 【実施主体】 流域市町、流域団体、流域住民、県等	○ 流域市町や住民等による取組の継続
		8	適正に管理保存された沈下橋数	48橋 (現状維持)	・保存・維持にかかる予算の確保、情報発信等 【実施主体】 流域市町、流域団体、流域住民、県等	○ 沈下橋保存方針等を参考とした流域市町等による管理の継続
		9	伝統漁具の保存・継承状況	192点 (現状維持)	・保存・維持にかかる予算の確保、情報発信等 【実施主体】 高知県歴史民俗資料館等	○ 高知県歴史民俗資料館による適正管理や四万十川財団における情報発信
		10	ゴミの排出状況 ①流域住民1人当たりの1日のゴミの量	849g以下	・R4目標未達成地域(四万十市、中土佐町、四万十町)の住民への啓発の強化と呼応 【実施主体】 流域市町、流域住民等	○ 県や流域市町の条例所管部署や環境部署の集まる場において、各地域のごみの取扱い状況やリサイクル率、住民への啓発手法、課題を共有し、対策を検討し、目標未達成地域を中心に目標を定め、啓発していく ○ 流域市町において、流域エリアでの数値把握を検討・実施(現状は、流域市町全域)